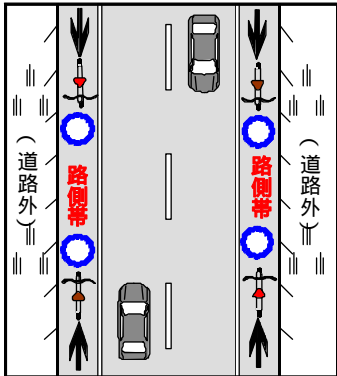


道路交通法の改正に伴う 「軽車両の路側帯通行」について

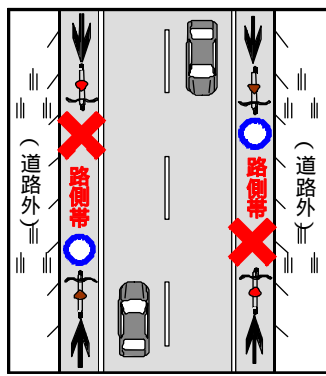
【自転車を含む軽車両の路側帯通行の改正要旨】(道路交通法第17条の2第1項)

自転車を含む軽車両は、著しく歩行者の通行を妨げる場合を除き通行できる路側帯は、道路の左側部分に設けられた路側帯に限られました。(軽車両が路側帯を通行する場合の進行方向が定められました。) 路側帯の右側通行は同法第17条第1項違反に抵触(3月以下の懲役又は5万円以下の罰金)

【改正前】

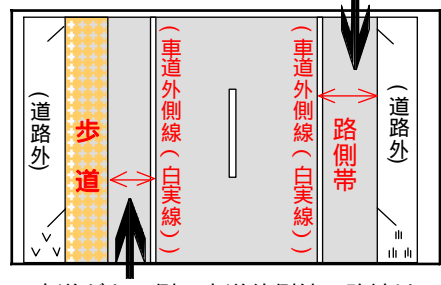


【改正後】



【参考】路側帯は？

歩道がない車道外側線の路端が路側帯



歩道がある側の車道外側線の路端は、車道の一部で路側帯ではありません。

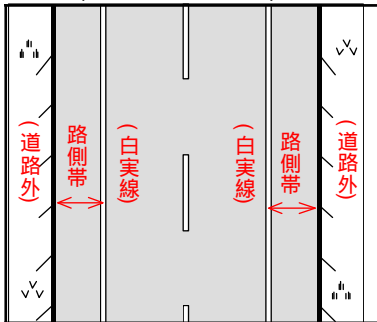
【路側帯】と【その種類】は？

「歩行者の通行の用に供し、又は車道の効用を保つため、歩道が設けられていない道路又は道路の歩道が設けられていない側の路端寄りに設けられた帯状の道路の部分で、道路標示によって区画されたものをいう。」(道路交通法第2条第1項第3号の4)と規定されています。

「路側帯」は、歩行者の通行の安全を図るためのもので、原則、軽車両を除く車両は路側帯通行はできません。更に「歩行者用路側帯」では、軽車両も通行できません。

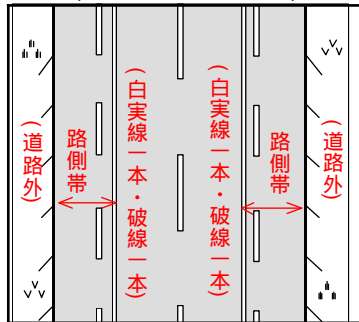
【路側帯の種類】

(一般的な路側帯)



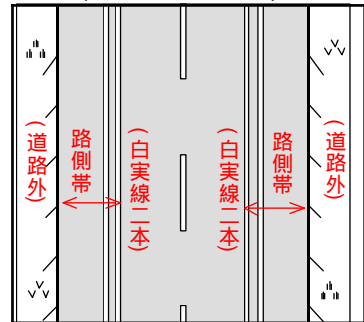
路側帯は歩行者が通行
軽車両も通行できる

(駐停車禁止路側帯)



車の駐車と停車が禁止
軽車両は通行できる

(歩行者用路側帯)



車の駐車と停車が禁止
軽車両の通行も禁止